

Bicycle Parking

業界唯一の
自転車駐車場専門情報誌

WINTER
2025

季刊バイシクルパーキング
2025年12月発行
第22号

no.22

発行：一般社団法人 自転車駐車場工業会
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 へんてるビル7F
TEL.03-3663-6284 FAX.03-3667-9637
http://www.jichuko.net

編集：有限会社 サン・ネット
〒162-0808 東京都新宿区天神町22-3 ルート神楽坂ビル5F
TEL：03-3269-6696 FAX：03-3269-6697
http://www.sun-net.cc

『[改定版] サイクルラック技術基準』

「強度区分Ⅳ」認定品の誕生、 そして今後の展望

一般社団法人 自転車駐車場工業会では、独自に設けたサイクルラック技術基準の認定制度を通じ、安全・安心、そして快適にご利用いただけるサイクルラックの普及に務めてきましたが、現在の自転車利用環境に対応すべく、2023年に基準の大幅な見直しを行い、新たに4段階の「強度区分」を設定、各区分ごとに認定を行うこととしました。そしてこの度、最も厳しい「強度区分Ⅳ」の認定品第1号及び第2号が誕生しました。改めて、サイクルラック技術基準の意義と運用指針について、当工業会技術委員長である竹佐和彦よりご案内します。



従来「標準版」の車重上限値である20kgを超える自転車が增多したため、基準の見直しが必要となりました。今般の改定ではいたずらに上限値を引き上げるのではなく、最低限力バースべき車重範囲をラック形式ごとにコア値として定義し、コア値を包含することを条件に独自に（各メーカーの裁量で）車重範囲を決められるようにしました。また、従来の基準は車重す

技術基準改定の狙い

従来の「サイクルラック技術基準」は、「標準版」が2016年4月に改定され、2018年11月には「子乗せ自転車用スライド式版」が追加されました。これに基づく当工業会認定品は35件ほど誕生し、多数の自転車駐車場に導入されました。その後、電動アシスト自転車の普及により重量化傾向が加速し、従来の「標準版」の車重上限値である20kgを超える自転車が增多したため、基準の見直しが必要となりました。今般の改定ではいたずらに上限値を引き上げるのではなく、最低限力バースべき車重範囲をラック形式ごとにコア値として定義し、コア値を包含することを条件に独自に（各メーカーの裁量で）車重範囲を決められるようにしました。また、従来の基準は車重す

1) 強度区分

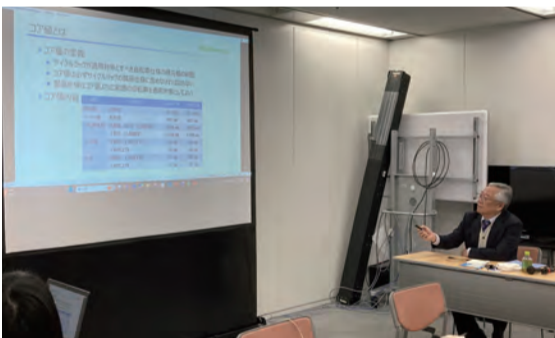
ラックが受ける風圧力、地震力は設置場所によって異なる。本基準では、設置場所により次の4種の強度区分を設けることとした。

強度区分	想定設置場所	自然外力(重力以外)
I	屋内(地下階~1階)	地震力
II	屋内(地下階~3階)	地震力
III	屋外(地面)	地震力、風圧力
IV	屋外(地上10m高まで)	地震力、風圧力

図 1-5-1 強度区分

なお、強度区分Ⅰ、Ⅱで認定した製品を半屋外的な空間で使用することを禁止しないが、この場合は十分な強度をもった防風壁等を周囲に有効に設ける等の対策を講ずることとする。

「強度区分」は4段階を設定。「Ⅳ」は「Ⅰ」～「Ⅲ」すべてを含んでいるため、屋内外の地上10mまでどの場所でも対応する。



会員向けに行われた改定技術基準の説明会で解説を行う技術委員会 竹佐和彦委員長 (2024年4月)

「強度区分」について

「強度区分」は機械部品等のJIS規格にも取り入れられている概念で珍しいものではなく、状況に応じてユーザーが選択できるようにしたものです。外力の値は設置場所によって大きく異なるので、ラック強度などの基準値も設置場所に応じて設定すべきとの結論に達し、屋内/屋外、1階(地面、地下含む)/2階以上の組み合わせで4つに分け、それぞれ基準値を算出しました。これが「強度区分Ⅰ~Ⅳ」です。「Ⅳ」(屋外・2階以上)が最も厳しく、「Ⅲ」(屋外・地面)は次いで厳しい値となり、「Ⅰ」「Ⅱ」は旧基準と同程度です。「Ⅳ」は

「強度区分」は機械部品等のJIS規格にも取り入れられている概念で珍しいものではなく、状況に応じてユーザーが選択できるようにしたものです。外力の値は設置場所によって大きく異なるので、ラック強度などの基準値も設置場所に応じて設定すべきとの結論に達し、屋内/屋外、1階(地面、地下含む)/2階以上の組み合わせで4つに分け、それぞれ基準値を算出しました。これが「強度区分Ⅰ~Ⅳ」です。「Ⅳ」(屋外・2階以上)が最も厳しく、「Ⅲ」(屋外・地面)は次いで厳しい値となり、「Ⅰ」「Ⅱ」は旧基準と同程度です。「Ⅳ」は

「強度区分Ⅳ」認定品が誕生

今回、「強度区分Ⅳ」での技術審査において、2段式サイクルラック(上段昇降式)が初めて認定されました(詳細は次ページ参照)。上段ラックは、自転車収容時にちょうど旗のような形になるので風の影響が著しく大きくなり、「Ⅳ」の認定は難しいのではないかと危惧していましたが、しかし、この高いハードルに果敢に挑み、見事クリアされたことに、改めて敬意を表します。

最高難度の認定の実現に、新基準への移行から約2年を要しましたが、一つの壁を乗り越えたという達成感があります。なお、もし「強度区分Ⅳ」の達成が困難であれば、「Ⅲ」や「Ⅱ」での認定を目指すことも一つの考え方です。

今後に向けて

この成功事例により、新技術基準に基づく構造計算書の作成と審査のノウハウが構築されてきましたので、今後はよりスムーズな審査やアドバイスが実施できると確信しています。旧基準で認定取得されている製品の旧基準認定への移行も促進していきたいと考えています。

風圧力の計算

風圧力計算式 (建築基準法施行令第八十七条)

$$F_w = C_f \cdot A \cdot q \quad \text{ここで } q = 0.6 \cdot E \cdot V_0^2$$

C_f : 風力係数(桁状構造物 1.4) A : 見付面積[m²] q : 速度圧[Pa]

V_0 : 基準風速[m/s] (首都圏で36.0)

E : 速度圧分布係数(下記計算式で算出)

地表面粗度区分Ⅲ 高さ10m以下とする ($Z_0=5m$ $Z_G=450m$ $\alpha=0.2$ $G_f=2.5$)

$$H \leq 5m \quad E = 1.19$$

$$H > 5m \quad E = (1.7 \times (H/Z_0)^\alpha)^2 \times G_f$$

地震力の計算方法

建物内の設備に加わる地震力 (建築設備耐震設計 施工指針2014年版)

$$F_H = 9.81 \cdot M \cdot K_H \quad \text{ここで } K_H = Z \cdot K_s$$

M : 質量[kg] K_H : 水平震度 Z : 地域係数(通常1.0) K_s : 設計用標準震度

耐震クラスB (一般設備) とする

$$F_V = 0.5 \cdot F_H$$

風圧力、地震力とも強度計算は非常に複雑なため、技術委員会では必要な計算式を盛り込んだフォーマットを作成した(認定申請時に利用可能)。



一般社団法人 自転車駐車場工業会の取り組み

サイクルラック技術基準改定から2年

ついに誕生した「強度区分Ⅳ」認定第1号

達成までの道のりと、製品の“実力”



一般社団法人 自転車駐車場工業会が2023年に改定したサイクルラック技術基準では、新たに4段階の「強度区分」が設けられた（詳細は一面参照）。改定からおおよそ2年を経た2025年9月、ついに最も厳しい「強度区分Ⅳ」の認定を達成した製品が登場した。それが株式会社OSS（愛知県小牧市）の垂直昇降式サイクルラック「ARS型」だ。



※写真は一部加工しています。

株式会社OSSの「ARS型」は、従来の（改定前の）サイクルラック技術基準の認定も取得している。つまり「旧認定」から「新認定」への移行ということになるが、旧基準の認定品であってもなお、新基準の「強度区分Ⅳ」の認定取得は簡単なものではなく、同社によると「実際のところ、おおよそフルモデルチェンジといえるほどの変更を施すことになった」という。（実際の計算式は複雑だが）わかりやすく言えば、上段ラックを横から押す力が、従来の旧基準では30kgだったものが、新基準では100kgになった」とするほどの大きな変化に対応すべく、同社は研究と試作を重ねた。「最終的には試作品の製作は5度、期間にして1

年に及んだ」とのこと。結果として先に触れた「フルモデルチェンジといえるほどの変更」を施すことになったわけだ。では、実際にどの程度の変更が加えられたのだろうか。それは実物を見比べれば明らかだ。まずは自転車載せるラックレールの形状が大きく変わっていることがわかる。従来品はコの字断面形状だったものが、新型では「H型」に変更されている。さらに、そのラックレールの上下動を支える支柱部分についても、まさにフルモデルチェンジというべき大幅な変更が加えられている。柱を支えるベースプレート



自転車を載せた状態でのラックの昇降は、ガススプリングによりパワーアシスト。数々の変更を施しながらも、従来機と変わらぬ操作感を実現している。

の大型化などとともに、従来品では支柱の内側に設けられていた、ラックの上下動のためのレール機構を支柱の外側へ移すという、抜本的な変更が施されているのだ。これにより、やはり支柱の内側に配されていたラックの台座が外側に露出したことで、補強のためのリブの追加などが可能になり、大幅に剛性を高めることに成功。その台座と支柱の結合部分の

サンラッキー

ソーラー（無電源）による 一時利用専用の駐車機器

- 料金変更が自由に設定
- 無料時間の設定が可能
- 設置当日より運営可能
- 常時移設可能
- バイク専用機も有り

トツキーライン

駐輪場等に最適！ ゴム製区画線

- 施工から使用開始まで5時間程度
- 現場施工なので寸法は自由自在
- 車両の速度抑制帯にも使用可
- 多彩なカラーバリエーション
- 指定寸法での製品販売も可
- ゴム製なので安全です

木製駐輪ラック

- 部品点数5点のみの簡単組立
- 防錆剤・ニス塗装済み
- 本体色は2種（クリア/ウォルナット）から選択可
- 底面にゴム足付き

自然環境や景観に配慮！

垂直昇降式ラック 展示場のご案内

弊社では、取扱メーカー各社の垂直昇降式ラック、計7種を展示した場所を設けております。
（所在地：埼玉県所沢市）
各製品の特徴や使い勝手を実際に体験してみたいとご要望に、いつでもお応えします！



Sc 日本サンサイクル株式会社

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-7-9（オンラインビル）
TEL：03-3639-4911（代） FAX：03-3639-4913 URL：http://www.sancyco.jp



新型



従来型

自転車を載せるラック部も強化されている。従来型の断面は「コの字型」の形状だったが、新型は「H型」に変更し、ラック自体の歪みを抑制。もちろん従来型でも実用上の強度が不足していたわけではないが、「強度区分Ⅳ」の認定取得のためには必要な変更だったとのこと。



新型

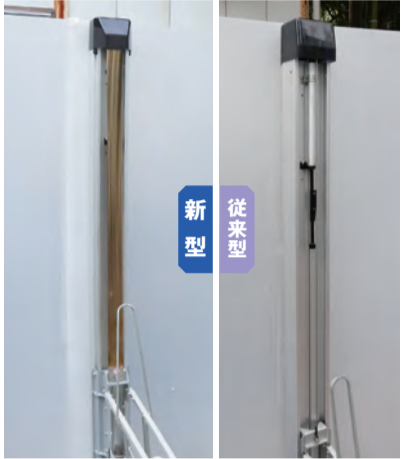
従来型



新型

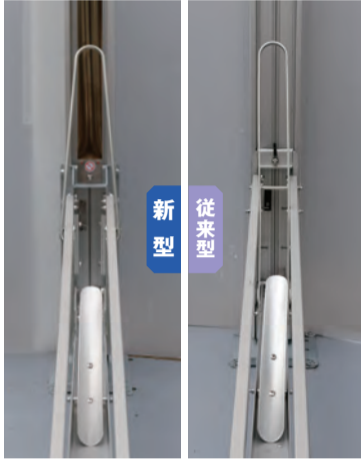
従来型

従来品は上下スライドを支えるレールは柱の内側にあったが、新型では外側に出すという抜本的な変更を実施。これにより外側に露出した台座にリブ加工を施すなど、横力に対する強度を大幅に高めた。



新型

従来型



新型

従来型

自転車の出庫後に、ラックが上段に自動復帰する「オートリターン機能」は、従来品は金属製のプラスチックを用いていたが、新型では定荷重バネを採用。

ラックレールは従来品から5mm広げられ業界最大レベルの60mm幅に。トップガイドの形状も変更され、幅広タイヤに対応。



新型

対応タイヤ径は従来品の「22～28インチ」から「20～28インチ」となり、対応域を拡大。

ラックレールは従来品から5mm広げられ業界最大レベルの60mm幅に。トップガイドの形状も変更され、幅広タイヤに対応。

各部の強度を上げながら設置サイズは従来のまま
ここまで大幅な変更が加えられた「ARS型」だが、一方で従来品と変わらない点もある。

形状を見比べると、その違いに驚くほどだ。なお、これらの変更に伴い、自転車の出庫後に、下に降りているラックレールが上段に自動復帰する「オートリターン機能」も機構変更が施されることになった。従来品はラックレールを上昇させるために金属製のプラスチックが用いられていたが、新型ではバラストに代わり定荷重バネ方式が採用されている。ただし、この「オートリターン」ではなく、自転車をラックに収容した状態で昇降の際には、同社ならではの「ガススプリング」によるアシスト機構が引き続き用いられている。また、これら変更とともに、ラックレールは業界最大の60mm幅に拡大、対応タイヤ径は従来の「22～28インチ」から「20～28インチ」に拡大し、使い勝手を高めている。

それは「使用感」であり、そして「設置サイズ」だ。「使用感」については、使用手順はもちろんのこと、適合する自転車の重量の影響を受けない軽い操作性も従来型と変わることのないよう徹底した調整が施された。変わることはないよう徹底されたのは「設置サイズ」もまた同様だ。ここまで触れてきたように、新型は「強度区分Ⅳ」を満たすため、ベースプレートや支柱などが大型化し、ラックレールの上下スライド機構も大幅な形状変更が実施されること

今後は新技術基準「強度区分Ⅳ」の認定品が増えていくものと考えられるが、それがこれまで以上に利用者の「安全・安心」に資することになるのは確かだ。そして同時に、その実現の裏にはこのようにメーカーのたゆまぬ努力があることもまた、注目すべき事実といえるだろう。

となったが、製品全体を見た場合、設置に要するサイズ、つまり製品が床面を占めるサイズは従来型と同じ。このため従来の「ARS型」と新型を入れ替えた場合も同じスペース内に収まることになり、通路が狭くなる、設置台数が減るといった問題は生じない。この「設置サイズ」を変えない」という点にも、同社は相当のこだわりを持って取り組んだとのこと。

「強度区分Ⅳ」認定第2号も「OSS」から誕生
—— スライドラック「ATG型」

改定版サイクルラック技術基準「強度区分Ⅳ」の認定第2号もOSS社の製品が取得した。トップガイド式スライドラック「ATG型」で、この10月に取得。下の写真は上段が「ARS型」、下段が「ATG型」という「強度区分Ⅳ」製品の組み合わせだ。



DATA

株式会社 OSS <https://www.os-solutions.co.jp/>
一般社団法人 自転車駐車場工業会 <http://jichuko.net/>

これから自転車でも、人にも、環境にも、やさしい街づくり。

豊富なバリエーションと確かな品質で、あらゆる駐輪ニーズに応えます。

- 上段にもかかる収納 2段式サイクルラック
- 軽くマクラク スライド式サイクルラック
- 耐久性抜群 サイクルルーフ
- 上階へも気軽に移動 サイクルスロープ
- 省スペースに最適 前輪式サイクルラック
- 収納台数がUP スイング式サイクルラック



株式会社 リード
一般社団法人 自転車駐車場工業会

お見積・レイアウトは、おまかせください。

商品の詳しい情報はホームページをご覧ください。図面データのダウンロードサービスも実施中です。

<http://www.lead.co.jp/churin/>

本社 〒360-0203 埼玉県熊谷市弥生578 TEL.048-588-1121(代)

LB事業部電子営業課 〒360-0802 埼玉県熊谷市下奈良1816-2 TEL.048-529-2727(代)

LB事業部駐輪営業課 〒110-0015 東京都台東区東上野3-15-12 エムプレイス東上野10F TEL.03-5834-3901 FAX.03-5834-3902

※お問合せは駐輪営業課まで

公益財団法人 自転車駐車場整備センターではJR三郷駅（埼玉県三郷市）周辺の自転車駐車場への定期利用Web手続きサービス「CYPs」導入と同時に、一時利用の取り扱い方法を一新。同センターとして初となる「精算機なし・キャッシュレス決済専用」自転車駐車場をリニューアルオープンさせた。



精算機のない“スマホ決済専用”

キャッシュレス自転車駐車場

自転車駐車場整備センター
初

三郷駅北口側道自転車駐車場



三郷駅北口側道自転車駐車場に新たに設けられた一時利用スペース。サニカ製電磁ロック式ラックを導入。



敷地内には精算機はなく、代わりに電磁ロックの制御・通信用ボックスを設置することで、「精算機のない自転車駐車場」として成立。



利用者は出庫する際に現地に掲示されている二次元コードをスマホ等で読み取ることで料金決済を行う仕組み。交通系ICカードには非対応ながら、主要バーコード決済を網羅するなど決済方法は多彩だ。

今は日常生活の数多くの場面でキャッシュレス決済が普及している。それは自転車駐車場も例外ではなく、むしろ駅前という立地特性から、特に交通系ICカード決済は早くから導入例があった。

さらにコロナ禍を経るなどし、まちなかの買い物同様、スマートフォンでの二次元コード決済が利用できる自転車駐車場も急速に増えてきている。

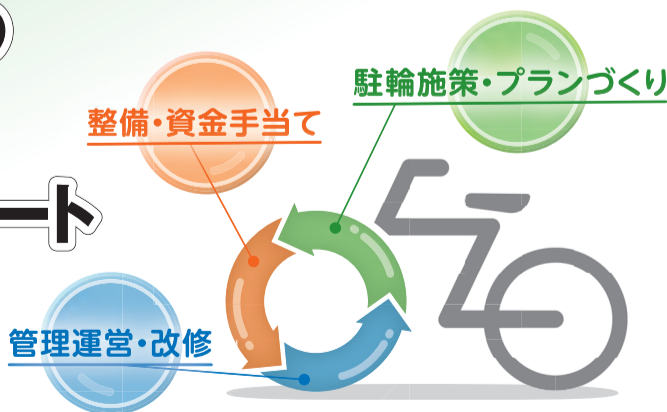
別の視点から見ても、今回、同駐車場を完全キャッシュレスの「スマホ決済」としたのは、ある意味で「必然」あるいは「必須」であったともいえる。同センターは

「スマホ決済」専用としたことで、精算機の設置は不要に。これにより開設及び維持にかかる費用の抑制を実現した。スマホ決済に対応するため、精算機の代わりに電磁ロックの操作等を行う通信・制御システムの導入等が必要になるものの、それでも費用抑制につながるのには確かであり、狭小スペースで少数を管理する「小規模自転車駐車場」「駐車場の分散配置」の実現可能性を大きく高め、同時に管理の省力化（管理員の少人数化・短時間化）による「人件費高騰対策・人手不足対策」にも寄与することになる。

同駐車場はこれまでは定期利用専用だったが、区画の見直しを図り、9月から新たに一時利用区画を追加。29台分の電磁ロック式ラック（株式会社サニカ製）を設置し、この利用料金の支払いを「スマホ決済」としたのだ。

利用者は出庫する際に現地に掲示されている二次元コードをスマホ等で読み取ることで料金決済を行う仕組み。交通系ICカードには非対応ながら、主要バーコード決済を網羅するなど決済方法は多彩だ。

自治体駐輪場の「サイクル」をトータルにサポート



管理コストをおさえた駐輪場の改良など何でもご相談ください

公益財団法人 自転車駐車場整備センター

Email : info.gyoumu1@jitensha.jp URL : https://www.jitensha.jp/

本 部 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-6-7 日本橋日銀通りビル4階
電話 03-6262-5320(代表) FAX 03-6262-5330

大阪事務所 電話 06-6449-0991(代表) FAX 06-6449-0994
名古屋事務所 電話 052-586-6841(代表) FAX 052-586-6855

（サイプス）CYPs 導入拡大しています！

- 定期利用のWebによる申込・決済
- 現場の駐輪場でシール自動発券
- 秘匿性の高い安全な個人情報の取扱い（実用新案登録第3239374号）
- 郵送による紙申込も可能（Webが使えない人にもやさしく）
- 市内外の料金差や細かな減免にも対応可

ハード・ソフト併せた駐輪課題対策

- 施設の老朽化対策
- 管理費用の低減
- 複数駐輪場間の利用の平準化、混雑する駐輪場の利用環境の向上
- 人件費上昇や求人難に応じた最適な機械化・省人化



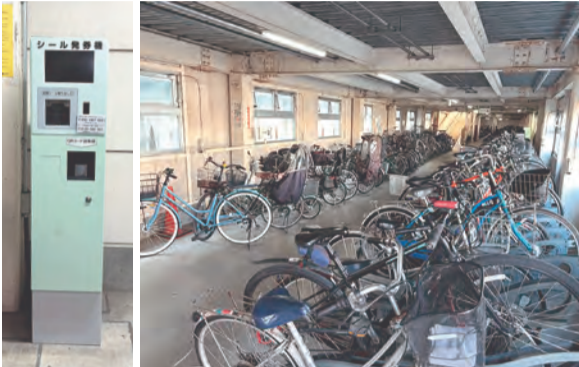


定期利用・一時利用両方を受け入れる三郷駅北口自転車駐車場。

CYPS導入時に一時利用も一新

三郷駅周辺で同センターが管理する自転車駐車場のひとつ「三郷駅北口自転車駐車場」は定期利用、一時利用ともに受け入れているが、先に触れたとおり定期利用には今般「CYPS」を導入した。このとき、同駐車場の一時利用が従来の管理方法——管理者が対面対応し、現

この「三郷駅北口側道自転車駐車場」のほかにも、三郷駅周辺で複数個所の自転車駐車場を管理運営しているが、それぞれの駐車場でこの9月より同センターのWEB手続き・決済システム「CYPS」を導入した。「CYPS」は定期利用の申込みや料金支払い、そして更新手続きなどがすべてWeb上(PC・スマホ)で完結するサービスで、これにより定期利用者は駐車場の窓口が開いている時間に縛られることなくいつでも手続きが可能になる。一方、駐車場の管理側から見ても、対面での書類や金銭のやり取りに追われることがなくなり、やはり将来を見据えたスムーズかつスリムな運営に資する、まさに自転車駐車場のDXを実現するシステムだ。



定期利用には同センターのWEBシステム「CYPS」を導入。写真左はWEB手続きによって発券可能になるシール発券機。定期利用、一時利用ともに管理運営のDXを実現した。



一時利用に電磁ロック式ラックを導入。こちらは交通系IC決済対応精算機2基を設置し、うち1基は現金決済にも対応。

金での料金支払い——のままで、駐車場全体としてのDXがアンバランスになり、管理者の負担(＝管理の省力化)も利用者の利便性も、どちらもアップデートされないままとなってしまふ。

つまり、「CYPS」の導入は、一時利用の「電磁ロック式ラック及びキャッシュレス決済の導入」という、「一時利用のDX」もセットになってこそ、効果が最大化されると見ることもできるわけだ。実際、「三郷駅北口自転車駐車場」では一時利用スペースには(先に紹介した北口側道自転車駐車場同様)新たに電磁ロック式ラックが設置され、「スマホ決済」を

導入。こちらは2箇所ある出入り口付近それぞれに精算機(サニカ製)も設置され、交通系ICカードによる決済にも対応、さらに精算機2基のうち1基については現金支払いにも対応している。先に触れたとおり、これまでは多くの人の利用が集中する朝のラッシュ時に現金で利用料金のやり取りを行い、利用札の取り付けを行うなど、利用者・管理者双方にとって「負担」となる面があったが、電磁ロック式ラックの導入により後払い式となり、かつ、多彩な決済方法により利便性が大いに増すことになった。

さらにメリットがもう一つ。それはいうなれば、料金の「さらなる適正化」だ。同駐車場の一時利用は、従来は「1日150円」という設定だったが、現在は「最初の10時間100円、以降14時間ごと100円」という新料金体系に変更されている。このような設定は一時利用のDXを行えばこそ可能といえる。従来と

比べ、使い方(利用時間)によって値下げにも値上げにもなるが、むしろ利用に応じた負担は理解されやすいともいえる。なお、この料金設定の変更などについては「スマホ決済」専用駐車場の開設も含め——地元自治体の深い理解が伴っている点にも注目すべきだろう。

運営開始から2か月ほどが経過した現在、利用者、現場の管理員ともに混乱はなく、スムーズな運営ができてきていること。同センターでは、今回の事例をモデルケースとして、同様の「定期利用II CYPS」「一時利用II スマホ決済」の組み合わせを推進していきたいとしている。

DATA

公益財団法人自転車駐車場整備センター
TEL 03-6262-5320

公益財団法人 自転車駐車場整備センター 自転車総合研究所
「第9回 自転車総合研究会」を開催



チャリチャリ株式会社
代表取締役社長
家本賢太郎氏



2025年7月28日、公益財団法人自転車駐車場整備センター 自転車総合研究所が「第9回 自転車総合研究会」を開催。そのプログラムのひとつとして、チャリチャリ株式会社 代表取締役社長 家本賢太郎氏による講演「GROUNDED IN THE COMMUNITY まちの移動の、次の習慣をつくる～シェアサイクルを通じたまちづくりへの貢献～」が行われた。

「チャリチャリ」は2018年に福岡でスタートしたメルカリのシェアサイクル事業を引き継ぎ、リブランドしたもの。開発・改善のスピードが重要との判断から自転車、スマートロックシステム、アプリを自社で開発しているという。また、ビジネスモデルとしてはすべて「民設民営」で、自治体との連携では、まちの課題解決のためにシェアサイクルがどんな貢献ができるかという視点が重要と強調。事業拡大自体を目標とせず、まちの課題解決のための手段としてシェアサイクルを提供していきたいとのことだった。

<http://www.daizo.co.jp>



人と暮らしと自転車・バイクと
新しいスタイルで 新しい環境整備へ



DAIZO

本社 〒552-0013 大阪市港区福崎3丁目1番201号
TEL 06-6577-2503 FAX 06-6577-2520

東京事務所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-4-13 VPO東日本橋ビル6階
TEL 03-5614-5106 FAX 03-3660-4500

Bicycle Parking NEWS&TOPICS

去る10月31日(金)・11月1日(土)の2日間、12回目となる「自転車利用環境向上会議」が名古屋市の昭和区の岡谷鋼機名古屋公会堂



講演・パネルディスカッション

第12回 自転車利用環境向上会議 in名古屋 開催される

企業展示ブース



公益財団法人自転車駐車場整備センターは同センターの取り組み等をパネルと動画で展示。

ラックに自転車を収めると、タイヤの太さに合わせてプレートが移動する自動可変ラック(デンケン製コンセプトモデル)を参考展示。



一般社団法人自転車物流イノベーション協議会はカーゴバイク・トレーラーを展示。



上段でもヘルメットの出し入れがしやすい工夫が施されたヘルメット用ロッカー(内外電機株式会社)

三協アルミ

カーポート型太陽光パネル架台

エネジアース

マルチルーフタイプ

サイクルポート：太陽光パネル架台エネジアースマルチルーフタイプ、サイクルラック：2段式S-F-1型

GOOD DESIGN

国土交通省
飛び火認定
DR認定
取得

NEW サイクルラック
前輪式(単体) **SS-2型**

重量 **35kg** 以下対応
タイヤ幅 **60mm** 以下対応

●高立式
●低立式

電動アシスト自転車なども駐輪可能なステンレス製サイクルラック新登場!!

メンテナンスフリーのオールアルミ構造サイクルポートは三協アルミ

三協立山株式会社 三協アルミ社
商品サポート TEL(0766)20-2675
https://alumi.st-grp.co.jp/

TACY サイクルパーク

交通系ICカード対応フラッパー式ゲートシステム 大好評稼働中!
交通系ICカード対応定期更新システムも発売中!!

株式会社 高見沢サイバネテック

パーキング事業部 東京都中野区中央2丁目48番5号 TEL 03 (3227)3371
URL <http://www.tacy.co.jp/>

Bicycle Parking NEWS&TOPICS

会場内に設けられた企業展示ブースでは、公益財団法人自転車駐車場整備センターが自転車駐車場に関する取り組みについてパネル展示を行い、タイヤの太さによりプレートが移動する自動可変ラック（株式会社デンケンによる試作品）も展示。その他のブースも自転車用ヘルメット収納ロッ

企業展示ブースも盛況

大ホールでは主催した名古屋市広沢一郎市長が登壇、名古屋市の自転車活用現状について、戦後復興事業により道が広く、平坦な地形のため自転車が利用しやすい環境であること、現在はシェアサイクルの利用も盛んで、4つの事業者により2000ステーションが設置されていることなどを説明。名古屋工業大学工学部の鈴木弘司教授による基調講演「名古屋市の自転車施策と自転車の利用特性」では、名古屋市が自転車活用に積極的であることや、自転車通行ネットワークの整備の現状などに触れた上で、自転車が関係する事故の研究について紹介。通行位置を明示する看板の事故抑制効果などについて、データを基に解説した。



にて開催された。今回もこれまで同様、大ホールでの講演・パネルディスカッション、専門的テーマを設けた各会議室での分科会、ポスターセッションに企業展示ブース、エクスカーションなど盛りだくさんの内容。

垂直2段式サイクルラック ARS・AFS・ATG・SRC series

ご利用者が使いやすく、高い安全性を確保。現場に合わせたフレキシブルなレイアウトが可能です。

- ▶ARS型 (水平上下限定式垂直上段ラック)
- ▶AFS型 (自動折りたたみ式垂直上段ラック)
- ▶ATG型 (スライドラック)
- ▶SRC型 (前輪カート式スライドラック)



新開発! 電動フルオート式垂直上段ラック GCR (Great Cycle Rack) 型

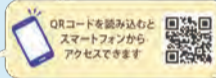
高重量自転車(最大40kg)もスイッチ操作のみで収納できる唯一の垂直上段ラックが誕生しました。モーターとガススプリングのハイブリッド駆動を採用し、子載せ3人乗り電動アシスト自転車を簡単に搭載できます。メカ式ゾーンセンサー等の採用により安全性も確保しました。



おかげさまで創業16年
垂直2段式サイクルラック一筋の専業メーカー
OSS
Operation & Space Solutions

株式会社OSS

〒485-0814 愛知県小牧市古雅 4-58-2
TEL 0568(54)3808 FAX 0568(54)-3812
URL <https://www.os-solutions.co.jp/>



カーやカーゴバイクなどバラエティに富んだ出展内容で、参加者の注目を集めていた。こちらも恒例のポスターセッションは70作品が展示され、来場者の投票等に基づき MVP をはじめとする各賞が決定、2日目に表彰式が行われ、大きな拍手で称えられた。



DATA 開催日: 2025年10月31日(金)・11月1日(土) 会場: 岡谷鋼機名古屋公会堂(名古屋市昭和区)
主催: 名古屋市 協力: 自転車利用環境向上会議全国委員会

東海技研グループは、
人々の安全・安心、より快適な街づくりに貢献し、
すべての生活者の皆様から、
愛され、信頼される企業を目指します。

株式会社グローバルパーキングサポート

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-7-19 竹生第2ビル5F
TEL: 045-471-8300 FAX: 045-471-8575

株式会社 東海技研株式会社

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-2-2 大阪駅前第2ビル13F-14号
TEL: 06-4795-1505 FAX: 06-4795-1565

株式会社 駐輪サービス

お客様に気持ちよく利用していただける駐輪場管理に努力しております

▶▶▶▶▶ 当社のモットー ◀◀◀◀◀

『笑顔であいさつ』

株式会社 駐輪サービス <https://www.churins.jp/>

<p>本社 〒530-0002 大阪府大阪市北区曾根崎新地2丁目5番3号 堂島TSSビル5階 TEL: 06-6345-7854 FAX: 06-6345-7853</p>	<p>名古屋支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目28番26号 宇徳ビル5階 TEL: 052-566-2580 FAX: 052-566-2581</p>
<p>東京支店 〒125-0062 東京都葛飾区青戸3丁目32番3号 エスアール青戸 303号 TEL: 03-3602-1034 FAX: 03-3604-0662</p>	<p>神戸支店 〒657-0027 兵庫県神戸市灘区永手町5丁目2番9号 サンロイヤル六甲301号 TEL: 078-843-8666 FAX: 078-200-5886</p>

環境と調和した、新しい駐車空間を創造します。

「オーナーサポート」「利用者満足度」「環境負荷低減」安全と信頼のテクノロジーで人・都市・環境を考慮し、これからのパーキングシステムを考える日本信号。

自転車・バイク駐車場管理システム
サイクルロック®システム
バイクロック®システム
ゲート式自転車・バイク駐車場管理システム

日本信号株式会社

AFC事業部 AFC営業部
〒100-6513
東京都千代田区丸の内1-5-1(新丸の内ビルディング)
PHONE: (03) 3217-7373 (代) FAX: (03) 3217-7377

“自転車駐車場&走行環境”計画・設計のエキスパート

株式会社 杉原設計事務所

代表取締役社長 山崎 修一

本社: 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-20-13 花園公園ビル4F 03(3357)0432

大阪事務所: 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-8-14 犬飼ビル5F 06(6304)7186

サニカのモーターロック機構は 静粛性と耐久性に優れ 長期の運用に最適です。

軽い力でスムーズに入出庫

CL600

個別ロックシステムサイト

営業本部
TEL: 055-284-2411
FAX: 055-284-2494

東京支店
TEL: 03-3526-6344
FAX: 03-3252-7622

大阪支店
TEL: 06-6536-3530
FAX: 06-6536-3535

福岡営業所
TEL: 0942-65-3115
FAX: 0942-65-3321

サニカ公式サイト <https://www.sanica.co.jp>
商品の詳細は公式サイトからご覧いただけます。



**駐輪場・駐車場のコールセンター
24時間、365日サポート**



電話対応

遠隔監視

緊急出動

モーリスコーポレーション株式会社 <http://www.morris-corp.co.jp>

東京本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9 小網町安田ビル3F
 <支店> 大阪、名古屋、福岡、金沢
 問い合わせ先 TEL 03-3663-5455 (代) FAX 03-3663-5466 E-mail info@morris-corp.co.jp



**機械式駐車場・駐輪場
メンテナンスのリリーフエース**

定期点検

緊急出動

故障修理

日本全国・年中無休

合理的・手頃な価格

どんなメーカーや機種・大小でもOK

遠隔監視システムで対応

日本駐車場救急サービス株式会社 <https://www.jafs99.co.jp>

東京本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町9-9 小網町安田ビル3F TEL 03-3663-1755 (代) FAX 03-3663-1750
 <支店> 大阪・名古屋・福岡・金沢・大宮



**駐輪場・駐車場・シェアサイクル
管理運営のリーディングカンパニー**



駐輪場事業

時代のニーズに対応した
管理システム

シェアサイクル事業

従来の駐輪場との
ハイブリッドな管理運営

駐車場事業

都市に美しく調和した
利用しやすい駐車場

企画・提案事業

21世紀型の事業運営を
提案・支援

出版事業

わが国唯一の
駐輪場・駐車場専門月刊誌
「自転車・バイク・自動車駐車場
パーキングプレス」

サイカパーキング株式会社 <https://www.cyca.co.jp>

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 べんてるビル7F
 東日本営業本部 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 べんてるビル7F TEL: 03-3667-9635 FAX: 03-3667-9637
 西日本営業本部 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-7 日販堂島ビル8F TEL: 06-6344-4021 FAX: 06-6344-4023
 <支店> 大阪、名古屋、福岡、岡山、川口、多摩
 <グループ会社> 横浜サイカパーキング株式会社 川口サイカパーキング株式会社 大阪サイカパーキング株式会社 福岡サイカパーキング株式会社